



森林教室を開催しました！



令和6年8月8日（木）むつ市立大平小学校のなかよし会、令和6年8月9日（金）むつ市立川内小学校のなかよし会において、それぞれ森林教室を開催しました。

森林教室は未来を担う子供たちに地域の森林について目を向け、森林・林業について学び、興味を持ってもらうことを目的に実施しています。

森林教室ではまず、林業や森の働きについて知ってもらうための座学を、30分程行いました。

次に低学年の子どもたちには木工工作や葉作りといった工作体験、高学年の子どもたちには「ゾーリン」^{ソーリン}という名前で林野庁職員が発案した、林業体験カードゲームで遊んでもらいました。

座学では、途中に身近にある木や植物に触れてもらう体験も交えながら行い、聞いてくれた子どもたちは葉っぱを触りながら、「スギはチクチクする！近くの公園にあるよ！」「クロモジはレモンティーの匂いがする！ヒバは歯磨き粉の匂い！」など様々な感想を教えてくださいました。他にも植物や動物のクイズに答えて貰ったり、木の太さや高さを測るための道具を使って実際の木の大きさを想像して貰ったりしました。工作体験では、カエデの葉っぱや押し花でオリジナルの葉作りをしたり、用意した木に名前や絵を描いたり、木と木をくっつけて好きな形を作ったりと、たくさん木や葉っぱに触れて貰いました。カードゲームでは、子どもたちはみんな、地面を綺麗

にして（^{じじしらえ}地拵え）、苗を植えて（^{うえつけ}植付け）、草を刈り（^{したがり}下刈り）、灌木を伐り（^{じゅばつ}除伐）、木の手入れのために周りの木を少し伐り（^{かんばつ}間伐）、そして植えて大きくなった木を伐る（^{しゅばつ}主伐）といった林業の流れをしっかりと理解しながら楽しく遊んでくれました。遊んだ「Zorin」はプレゼントし、ルールを覚えてくれた子どもたちが、また周りの皆に教えて遊んでくれていたようで嬉しいです。

子どもたちからは、「葉っぱを触ったり、匂いを嗅いだりして楽しかった。」「森林の大切さや、伐った木が色々なものになっているのが分かった。」「色々な花や葉っぱで葉を作ったり、木に絵を描くのが楽しかった。」「カードゲームは少し難しかったけど楽しかった」等のたくさんの感想が聞かれました。

下北森林管理署では森林教室を通して、地域の子供たちが森林・林業に興味を持ち、少しでも身近に感じて貰えることを願い、引き続き地域と連携して森林環境教育に取り組んで参ります。



～ 森林教室の様子 ～

【イベントレポート】

大平小学校



座学（葉っぱを触ってみよう！）



枝や輪切りを使って木工工作



葉作り



カードゲーム「zorin」

川内小学校



座学（身近にある色々な葉っぱの紹介）



好きな葉っぱで葉作り



カードゲームに挑戦！



木工工作